

カーボンニュートラル(ゼロカーボン)に 向けた取組状況について

北海道インフラゼロカーボン試行 工事の取組状況



北海道開発局ホームページへはこちらから。



北海道インフラゼロカーボン試行工事の取組状況①

- カーボンニュートラル(以下CN)の政府目標及びゼロカーボン北海道の実現には、全ての業態におけるCNの取組が不可避。
- 道内建設業において率先してCNを進めるため、当局及び北海道、札幌市、鉄道建設・運輸施設整備支援機構(JRTT)、NEXCO東日本北海道支社発注工事において、本取組を推進し、工事成績でのインセンティブを付与することで、道内建設業におけるCNの意識醸成を図ります。

R4年度から試行

北海道インフラゼロカーボン
試行工事

①工事開始時(発注者)

工事におけるCO2削減意識を醸成

- ・施工計画書にCO2削減に資する取組の記載を求める(建設機械、材料、工法等)

※施工計画書：必要な手順や工法等について工事着手前に受注者が発注者へ提出

②工事実施(受注者)

各工事においてCO2削減の取組を実施

- ・施工計画書に基づき、具体的なCO2削減策を実施(建設機械、材料、工法等)

CO2削減に向けた好循環
道内建設業における
カーボンニュートラルの意識醸成

③工事終了時(発注者)

工事成績におけるインセンティブ付与

- ・CO2削減の取組を工事成績にて評価【1点】(建設機械、材料、工法等)

④建設業団体との意見交換(発注者)

課題等について建設業団体と意見交換

- ・CO2削減に向け、工事成績のインセンティブのあり方や改善点等について建設業団体と意見交換

⑤更なるCO2削減に向けて(発注者)

建設業団体との意見交換等を踏まえ、
次年度の実施方針を検討

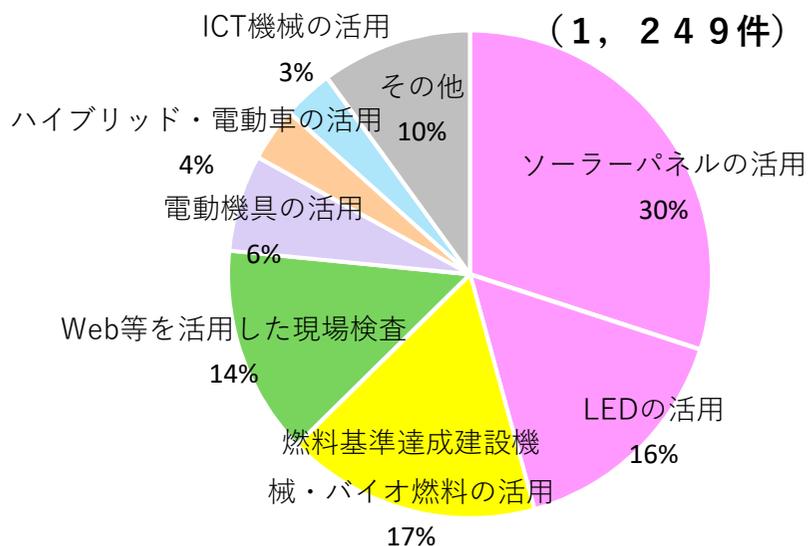
- ・更なるCO2削減に向けて、次年度のインセンティブ付与条件等の取組内容を検討

※図は北海道開発局における取組内容

ゼロカーボン北海道の実現へ

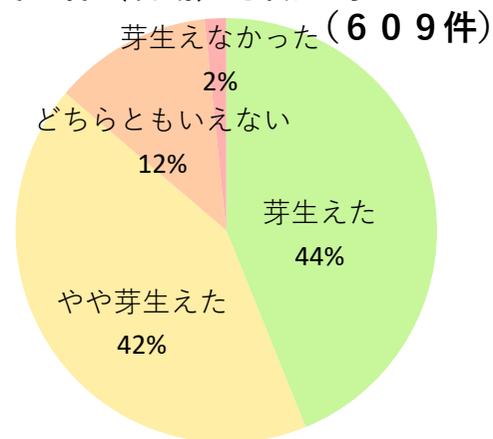
- 令和4年度試行工事において、カーボンニュートラルの意識が向上し、取組実施率約9割に！
 - ・令和4年度完成工事1,432件の内、試行実施件数は1,249件で実施(87%) 3月末時点
- 受注者(現場)アンケート調査によるゼロカーボンの意識醸成も約9割に！
- ゼロカーボンの意識を促進するため、令和5年度も継続する。また、今後、試行工事による取組事例などを公表し取組拡大を促進する。

【取組項目】



【アンケート調査結果】

■ 受注者(現場)意識は芽生えたか



意識向上：86% (525件)
(芽生えた・やや芽生えた)

【意識醸成が図られた主な理由】

- ・ 本試行工事の取組を通じて(約7割)
- ・ 以前から取り組んでいる
- ・ 提供資料を見たことで
- ・ メディアを通じて
- ・ 他現場での事例を通じて

■ 取組事例等

バイオ燃料の活用



AS素材の加熱をガスから電気



電動機具の活用



ロゴマークを現場等で掲示

